

平成 25 年度「認知症啓発月間」の取組みについて

1 目的

認知症になっても暮らしやすい長野市の実現に向け、市民の認知症への理解を深めるための「認知症啓発月間」を新たに設け、広報紙やホームページによる周知のほか、直接、市民へ働きかける街頭啓発や認知症サポーター講座などを実施し、認知症への関心を高め正しく理解し、その後の支援へつなげる機会とする。

2 名称 「認知症になっても暮らしやすい長野市」月間

3 対象期間

世界アルツハイマーデー（9月21日）を含む 1か月
9月1日から9月30日

4 主な取組み

- 1) 広報紙 8月号での周知
- 2) ホームページからの情報提供
- 3) 駅前街頭啓発（啓発チラシ・ティッシュ配布など）
- 4) 庁用車へのマグネットシートによる啓発
- 5) 認知症サポーター講座の開催

ほか

5 協働

下記の団体と協働で駅前街頭啓発等を実施することにより、通勤、通学の若い世代への関心を高める。

市の配付物に加え、「認知症の人と家族の会の案内」及び「AC長野パルセイロホームゲーム案内」も一緒に配付する。

- 1) 認知症の人と家族の会（長野市）
- 2) AC長野パルセイロ
- 3) HINCHADA NAGANO（パルセイロサポーターグループ）
- 4) 長野駅前周辺商店会「パルセイロ活性化委員会」

2) についてはチームカラーがリングと同じオレンジ色という縁で、お互いのサポーターが増えていくように協力し活動している。 3) 4) は2) のサポーター